

第1学年 国語科学習指導案

公開	/ 児童	3組	男18名	女12名	計30名
	指導者	五安城	晴美		
公開	/ 児童	1組	男19名	女11名	計30名
	指導者	菊池	ゆか		

1 単元名 すきなものをしらせるね

2 教材名 ぼくんちのゴリ

3 単元について

(1) 指導の重点

第1・2学年の書くことの指導目標は「経験したことや想像したことについて順序が分かるように語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。」である。

これを受けて、本単元では「自分の好きなものを身近な人に知らせたいという意欲を持つこと」「紹介するために対象をよく観察して、そのことを文章に書いてみること」をねらいとしている。

第1、2学年の書くことの基本は「楽しんで表現しようとする」ことである。自分の好きなものをよく観察し、記述して身近な相手に伝えるという活動を通して、書くことの楽しさに気づかせ、書くことに自信を持たせたい。

(2) 児童の実態

子どもたちは、好奇心が旺盛でいろいろなことに興味・関心を示す。そして、自分が経験したことや知っていることを身近にいる人に伝えたいという思いを持っている。

これまでに、主語と述語の文作り、助詞の使い方、伝えたいことを短い手紙形式で書く学習をしてきた。

これまでの経験や学習から、子どもたちは経験したことや思ったことを短い文章で表現することにおもしろさを感じ、意欲的に取り組んでいる。一方、何を書いたらよいのか迷ってなかなか書き出せない子や、助詞や句読点を正しく使えない子、主語・述語の使い方が不適切な子もみられる。

(3) 教材観・指導観

本単元は、自分の好きなものを身近な人に紹介するために、よく観察して文章を書いてみようという学習である。相手に読んでもらい、内容を伝えるために児童はまず、知らせるものをよく見て、その特徴を取材する必要がある。次に、取材したことをもとに、文章を書く。最後に文章を推敲し、見なおし、修正をする。このように、書くことの初歩を本教材を通して行う。自分の好きな物を身近な人に伝えること、できあがったら発表会をすることなど、目的意識を持たせて活動させることを念頭に置いて学習を進めていきたい。また、書いたら読み返すよう声をかけ、書いたものを読み返す習慣をつけさせたい。

理解

ぼくんちのゴリを楽しく読み、ゴリカードを書くことによって、内容を正しく読みとらせる。作者がゴリをよく見て書いていることや書く視点(年、性別、色、動作など)があることをおさえさせる。

取材

興味があり、詳しく書けるものを見つけさせる。五感を意識させ、いろいろな視点から見て、好きなものを知らせるメモをカードに書くように助言する。

構成・記述

カードをもとにして、文を書かせる。その際、文として意味が通じるように、主語と述語の関係に注意させるとともに、句読点の打ち方を理解させ、使わせるようにする。また、「書き出し」の書き方を理解させることにより、簡単な文の組立てを意識させる。

推敲

伝えたいことが、相手にうまく伝わるかどうか読み返して推敲させる。文章を音読させることによって、読みにくいところやわかりにくいところに気づかせ、句読点やかぎ、促音や拗音等の正しい表記のしかたを意識できるようにさせる。

評価

自分の好きなもの、知らせたいものについて様々な視点で観察し集めているか、友だちの発表から聞き取る。クイズ形式にするなどして、発表を聞く必然性を作る。

4 単元の目標

「ぼくちのゴリ」の文章を読んで、自分の好きなものを知らせる意欲をもつ。
好きなものを観察して書き、家の人に知らせる。

【関心・意欲・態度】

- ・好きなものの特徴を考えながら、内容の大体を読もうとする。
- ・自分の好きなものを相手に知らせるために、必要な事柄を集めようとする。

【書く力】

- ・書くものについて観察し、その特徴などの材料を集める。

【読む力】

- ・書かれていることの大体をつかみ、書き手の気持ちを読み取る。

【言語の力】

- ・句読点の打ち方や、かぎ（「 」）の使い方を理解して文の中で使い、読み返す。

5 単元の指導計画・評価計画（10時間）

段 階	時 間	指導目標	学習内容	評価規準
理 解	3	・「ぼくちのゴリ」を読んで学習の見通しを持ち、「ゴリカード」を作る。	・全文を読み、ゴリの説明を「ゴリカード」に書くことを知る。 ・「ゴリカード」の書き方を理解する。 ・「ゴリカード」を作る。	関 ゴリの体の様子や動作等の特徴を見つけようとしている。 読 ゴリについて知らせているところを見つけながら読む。 言 主語と述語の関係を理解して読む。
取 材 2/2 1組 本時	2	・身近な人に紹介したい好きなもの見つけて、「すきなものカード」を作る。	・「すきなものカード」の作り方を理解する。 ・身近な人に紹介したい好きなものを見つけて、「すきなものカード」を作る。	関 進んで自分の知らせたいものを見つけようとしている。 書 知らせたいものを決めて、いろいろな観点で「好きなものカード」に書くことができる。
構 成 ・ 記 述 1/2 3組 本時	2	・「すきなものカード」をもとにして、身近な人に好きなものを紹介する文を書く。	・紹介する文を書くというめあてをもつ。 ・「すきなものカード」をもとにして、好きなものを紹介する文を書く。 ・書き出しの書き方や「 」の使い方を理解する。	書 好きなものについて、知らせたいことを文に書くことができる。 言 句読点や「 」を使って、文を書いている。
推 敲	1	・文章の間違いを直し、清書する。	・書いた文章を句読点やかぎ、促音や拗音等の表記を中心に直す。	書 文章を見直し、清書している。 言 文章を見直して、句読点や「 」の使い方、表記などを確かめている。
評 価	2	・発表会を開き、好きなものを発表する。	・書いた文章を友だちに発表する。 ・友だちの発表を聞き、感想を書く。	関 発表会で、自分の書いた文章を進んで発表しようとしている。 書 友だちの文章のよさを見つけて、感想を書いている。

6 本時の展開(3組 記述)

(1) 本時の目標と評価規準・支援

指導目標	評価規準	具体的評価規準		努力を要すると判断される児童への支援
		概ね満足できる(B)	十分満足できる(A)	
「すきなもののカード」をもとに、文を書くことができる。	【書く力】 好きなものについて、知らせたいことを文に書くことができる。	すきなもののカードをもとにして、文を書くことができる。	すきなもののカードをもとにして、文を正しく書くことができる。	教師の聞き取りのもと、まず口頭で文を作ってから、文字に表させる。

(2) 指導にあたって

本時は、取材の段階で書いた「すきなもののカード」をもとに、好きなものを紹介する文を書く学習である。子どもたちの学習意欲が継続できるよう、目的意識・相手意識を明確にして学習を進めていきたい。また、文を書く際には、主述の整った文型や文末をはっきりすることに重点をおいて指導したい。

(3) 展開

段階	学習過程	学 習 活 動	支援 指導上の留意点・評価【 】
導入 5分	課題把握	1 自分が紹介したいものを発表する。 2 本時の学習課題をつかむ。 すきなもののカードをぶんにしよう。	・発表会をしてみんなに紹介することや文集にまとめておうちの人にも読んでもらうことを確認し、学習への意欲を高める。
展開 35分	課題の追究 方法の理解 実作 発表	3 みんなにどんなことを教えたいか確かめる。 4 「すきなもののカード」をもとに紹介する文を書く。 ・文の書き方を確かめる。 ・すきなもののカードをもとに、書かれている絵を説明するように文を書く。 5 書いた文を発表する。 ・よいところ、質問したいところはないか考えながら発表を聞く。	・前時まで学習した、書く視点について確認する。 ・「～は、～です。」「～は、～します。」を基本的な文型として、主語と述語が照応するように指導する。 文を書くことが難しい児童には、教師が聞き取りをしながら文作りを支援する。 【書く力】 すきなものについて、知らせたいことを文に書くことができる。 ・聞く観点を与え、友だちの発表をしっかりと聞かせる。
終末 5分	まとめる	6 本時の学習をふり返る。 ・自己評価をする。 次時の学習内容を確認する。	・次時は、書き出しの文や会話文を書くことを知らせる。

6 本時の指導（1組 取材）

（1） 本時の目標と評価規準・支援

指導目標	評価規準	具体的評価規準		努力を要すると判断される児童への支援
		概ね満足できる（B）	十分満足できる（A）	
身近な人に紹介したい好きなものを見つけて「好きなものカード」を作ることができる。	【書く力】 身近な人に紹介したいものを見つけ、いくつかの視点でメモを書くことができる。	カードに描かれている絵を見ながら、いくつかの視点で絵を説明するメモを書くことができる。	カードに描かれている絵を見ながら、絵を説明するメモを、視点をたくさん見つけて書くことができる。	教師が視点を示して、メモを書かせる。

（2） 指導にあたって

本時は、ぼくんちのゴリを読んで書いた「ゴリカード」を思い出しながら、自分の好きなものをいくつかの視点に分けて「好きなものカード」に書く学習である。ゴリカードや教師の作ったカードを参考にして書く。自分の好きなものの特徴が相手によく伝わるためには、どんな視点で書いたらよいかを考えながら書かせたい。

（3） 展開

段階	学習過程	学習活動	支援 指導上の留意点・評価【】
導入 5分	課題把握	1 前時の学習をふり返る。 2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> すきなもののことをおしえることばをかこう。 </div>	・すきなものの説明を、カードに書きたいという意欲を持たせたい。
展開 35分	課題の追究 方法の理解 実作 発表	3 カードの書き方を確認する。 ・前時の学習を思い出して書く視点を思い出す。 4 「好きなものカード」を書く。 ・ゴリカード、教師のカードを見本にして、自由に説明の言葉を加える。 5 書いたカードを発表する。 ・よいところ、質問したいことはないか考えながら発表を聞く。	・好きなものの特徴が相手によく伝わるためには、どんな視点で書いたらよいか考えさせる。 説明の言葉が見つからない児童には、教師が視点を示してメモを書かせる。 【書く力】 身近な人に紹介したいものを見つけ、いくつかの視点でメモを書くことができる。 ・聞く観点を与え、友だちの発表をしっかりと聞かせる。
終末 5分	まとめる	6 本時の学習をふり返る。 ・自己評価をする。 次時の学習内容を確認する。	・すきなものカードをもとにして好きなものを紹介する文を書く事を知らせる。